

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
その他を選択した場合	

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク		
代表者職・氏名	理事長・牧野 望		
制作団体所在地	〒 166-0002 東京都杉並区高円寺北2-1-2		
電話番号	03-3223-7500	FAX番号	03-3223-7501
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク		
代表者職・氏名	理事長・牧野 望		
公演団体所在地	〒 166-0002 東京都杉並区高円寺北2-1-2		
制作団体 設立年月	平成17年 7月		
制作団体組織	役職員 理事長:牧野望(マキノノゾミ) 副理事長:鈴木聰、高宮水木 理事:桑谷哲男、坂手洋二 監事:長谷基弘、平山鉄郎	団体構成員及び加入条件等 主な構成員:永井愛/渡辺えり/横内謙介 加入条件:理事長が別に定める入会申込書により、理事長宛に申し込むものとする。会員の入会については特に条件を定めない。	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	和泉将朗、石原直子
経理処理等の監査担当の有無	有	経理責任者名	酒井道子

制作団体沿革	<p>舞台芸術の専門家によるグループが、平成17年7月にNPO法人として正式に活動を開始。平成18年10月には、杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」の指定管理者に選出され、同劇場の運営を開始。劇場を拠点とし、子どもを対象とした演劇公演の企画制作や、毎週土曜に幼児から参加できる絵本のイベント、毎週日曜に小中学生に向けたワークショップ、夏休みには親子で楽しめる工作ワークショップなど、数多く実施している。</p> <p>また、付設の演劇学校「劇場創造アカデミー」では、大学や各地域の公共劇場とネットワークを築き、舞台芸術のノウハウを文化・芸術の分野だけでなく、地域のコミュニティで生かしていくための人材を育成。</p> <p>地域の4大祭りと称される「高円寺びっくり大道芸」「東京高円寺阿波おどり」「高円寺フェス」「高円寺演芸まつり」を積極的に応援協力し、地域の活性化事業を行っている。</p>									
学校等における公演実績	<p>平成21年より、杉並区内外の小中高等学校の演劇鑑賞教室を、延べ439校で実施、34,000名以上が鑑賞。演劇鑑賞教室並びに学校公演用に制作した舞台作品は、平成23年度児童福祉文化賞受賞作品『旅とあいつとお姫さま』、平成24年度児童福祉文化賞推薦作品『ピン・ポン』、平成30年度児童福祉文化賞推薦作品『ピノッキオ』、平成30年度厚生労働省社会保障審議会推薦作品『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』等、受賞作品多数。</p> <p>他、えざこホール、あさひサンライズホール、美深町文化ホール、桐蔭学園シンフォニーホール、茅野市民会館、宮崎県立芸術劇場、高知県立美術館、目黒パーシモンホール、久留米シティプラザにおける小中学生の団体鑑賞や全国の親子劇場・子ども劇場の会員も多数鑑賞。</p>									
特別支援学校における公演実績	<p>平成24年度からの当該事業で『ピン・ポン』の上演及びワークショップの実績あり。</p> <p>特別支援学校は15校(愛知県立安城養護学校、静岡県立浜名特別支援学校、静岡県立浜松聴覚特別支援学校、福島県立大笹生養護学校、福井県立南越特別支援学校、京都府立舞鶴支援学校北吸分校、京都府立八幡支援学校、茨城県立霞ヶ浦聾小学校、山口県立山口総合支援学校、広島県立呉特別支援学校、広島県立尾道特別支援学校、鹿児島県立鹿屋養護学校、大阪府立光陽支援学校、富山県立にいかわ総合支援学校、京都府立丹波支援学校)、2,220人以上が鑑賞。</p> <p>当該事業以外では、平成27年に茨城県立下妻特別支援学校から直接依頼を受け『ピン・ポン』学校公演を実施。</p>									
参考資料の有無	<p>A</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="514 1450 922 1495">申請する演目のチラシパンフレット等</td><td data-bbox="1208 1450 1240 1495">有</td></tr> <tr> <td data-bbox="514 1540 970 1585">申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</td><td data-bbox="1208 1540 1240 1585">有</td></tr> <tr> <td data-bbox="514 1630 795 1675">※公開資料有の場合URL</td><td data-bbox="1033 1630 1430 1675"> <a href="https://vimeo.com/543942749/9c7ede85b8">https://vimeo.com/543942749/9c7ede85b8</a>  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=XYmuyqYnq4U">https://www.youtube.com/watch?v=XYmuyqYnq4U</a> </td></tr> <tr> <td data-bbox="514 1720 946 1776">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード</td><td data-bbox="1017 1720 1049 1742">ID:</td><td data-bbox="1017 1742 1049 1765"></td></tr> </table>	申請する演目のチラシパンフレット等	有	申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	※公開資料有の場合URL	<a href="https://vimeo.com/543942749/9c7ede85b8">https://vimeo.com/543942749/9c7ede85b8</a> <a href="https://www.youtube.com/watch?v=XYmuyqYnq4U">https://www.youtube.com/watch?v=XYmuyqYnq4U</a>	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID:	
申請する演目のチラシパンフレット等	有									
申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有									
※公開資料有の場合URL	<a href="https://vimeo.com/543942749/9c7ede85b8">https://vimeo.com/543942749/9c7ede85b8</a> <a href="https://www.youtube.com/watch?v=XYmuyqYnq4U">https://www.youtube.com/watch?v=XYmuyqYnq4U</a>									
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID:									
PW:										
今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料										
※公開資料有の場合URL										
Aの提出が困難な場合	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID:								
	PW:									

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	座・高円寺レパートリー『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』					
本公演演目	『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』 原作 宮沢賢治 上演台本 佃典彦 演出 西沢栄治 美術 長田佳代子 振付・ステージング 神在ひろみ 音楽 園田容子 照明プラン 横原由祐 音響プラン 島猛 衣裳 仲村祐妃子 歌唱指導 伊藤和美					
原作/作曲 脚本 演出/振付						
	公演時間( 70 分)					
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況		
演目概要	宮沢賢治の童話『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』をベースにしたミュージカル仕立ての演劇です。 ※別添あり  【あらすじ】…ある国の王様が新しい法律を発令した。それは「家畜の命を取るときはその家畜自身からの承諾が必要」というもの。どうにかして豚から承諾を得たいフランドン農学校の校長に、それを急かす教師、早く食べたい生徒達。しかし自分が食べられることを知った豚は判を押そうとはしない。そこで豚の気持ちを紛らわせようと一年生が語って聞かせるお話を、森で迷った2人の獵師が入った料理店でヘンテコな注文をつけられ、食べられそうになるもので…。 【上演歴】 平成29年～令和2年 座・高円寺にて45公演(内20公演は東京都杉並区の小学校4年生が授業の一環で観劇) 令和2年9月 目黒バーシモンホール(目黒子ども劇場45周年記念例会) 令和2年11月～12月 文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演)14公演 【上演予定】 令和3年9月、座・高円寺にて20公演(内16公演は東京都杉並区の小学校4年生が授業の一環で観劇) 令和3年11月 文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演)7公演					
演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年の児童から大人までが身近に感じられる「食べる/食べられる」にまつわる2つの童話を一つにしました。原作のもつ命の大切さや、食べるとの意味をしっかりと受け止めてもらえる内容となっています。先生方からは1回の観劇の楽しみだけに終わらず、「食育」「命の教育」といった学校教育につながる演目であると評価を受けています。</li> <li>台本構成を、「演劇界の芥川賞」ともいわれる岸田國士戯曲賞の受賞歴があり、なおかつ児童劇の経験豊かな佃典彦に委託することで、児童劇の枠に収まらない大人も子どもも楽しめる演劇作品となりました。</li> <li>オリジナル曲や躍動感あふれる振付で、低学年の子どもたちにもわかりやすく、明るくポップな舞台になっています。</li> </ul>					
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭とラストの晩餐会の場面に参加してもらい、農学校の校長先生や畜産学の先生たちを、盛大な拍手で出迎えもらいます。</li> <li>ブタ役の俳優が客席に逃げる場面では、子どもたちに探すのを手伝ってもらいます。</li> <li>お芝居の最後にオリジナルの劇中歌「豚肉料理の歌」(作詞:佃典彦、作曲:園田容子)の一節をキャストと一緒に歌い、その場で振付をしたダンスを踊ります。</li> </ul>					
出演者	校長・山猫A: 宮島岳史(劇団昴) 教師・山猫B: 大野朱美(東宝芸能) 助手・獵師: 和田裕太(東宝芸能) 生徒A・紳士B: 塚本淳也(ジェイ・クリップ) 生徒B・紳士B: 小玉雄大(スタークス・21Neu) 一年生・料理長: 安川里奈(劇団SET)または、伊島青(FMG)					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 6 名 スタッフ: 13 名 合 計: 19 名	機材等 運搬方法	積載量: 4 t 車 長: 9 m 台 数: 2 台			

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																										
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<table border="1"> <tr> <td>前日仕込み</td><td>無</td><td>会場設営の所要時間</td><td>5</td><td>時間程度</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td><td></td></tr> <tr> <td>8時</td><td>8時～13時半</td><td>13時半～14時40分</td><td>適宜</td><td>15時～17時半</td><td>17時半</td><td></td></tr> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2时限分程度です。</p>						前日仕込み	無	会場設営の所要時間	5	時間程度			到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出		8時	8時～13時半	13時半～14時40分	適宜	15時～17時半	17時半	
前日仕込み	無	会場設営の所要時間	5	時間程度																							
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出																						
8時	8時～13時半	13時半～14時40分	適宜	15時～17時半	17時半																						
児童・生徒の参加可能人数	<table border="1"> <tr> <td>ワークショップ</td><td colspan="5">70名程度まで(45分毎に入替)</td><td></td></tr> <tr> <td>本公演</td><td colspan="5">350名程度まで (それ以上でも会場条件によって可能になる場合もあります。)</td><td></td></tr> </table>						ワークショップ	70名程度まで(45分毎に入替)						本公演	350名程度まで (それ以上でも会場条件によって可能になる場合もあります。)												
ワークショップ	70名程度まで(45分毎に入替)																										
本公演	350名程度まで (それ以上でも会場条件によって可能になる場合もあります。)																										
ワークショップ実施形態及び内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半に出演者と演劇創作に必要な技術が体験できるゲームを行い緊張をほぐし、子どもたちの表現することに対する興味をかきたてつつ、ワークショップやお芝居の世界観を共有します。</li> <li>後半はチームを分けて「豚を育てる」をテーマに俳優とともに芝居を創作し発表。 ※人数によっては複数の学年と一緒に行えます。</li> </ul>																										
ワークショップ実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>俳優のリードで表現する達成感を持ってもらいます。またスタッフワークに興味がある児童には音出し等スタッフの仕事を手伝ってもらい、皆の協力のもとひとつの舞台ができあがることを体験します。</li> <li>自分が発表するだけでなく、クラスメイトの発表を観劇することでミニ鑑賞体験をし、他者の表現手法やアイデアを学ぶ機会を得ます。</li> </ul>																										
特別支援学校での実施における工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイクを使う事でハッキリとセリフや音楽を届けます。視覚的にも明るく、音楽やダンスもふんだんに盛り込み楽しめますので、特別支援学校においても内容を変えずに実施することができます。</li> <li>俳優が舞台から客席にいく場面では、移動が難しい児童の近くまで行ってお芝居に参加できる工夫を行います。</li> </ul>																										
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。																										

リンク先

No.2

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

## 項目内容

## 演目概要

体育館公演でも劇場と同じ舞台セットを使います。照明機材や大型スピーカーに仕込まれた普段とは違う体育館に、入場した子どもたちからは歓声が上がります。



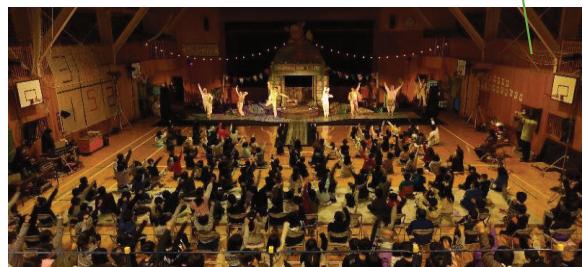
宮沢賢治が伝えたかったことを舞台化するにあたり、原作にはない工夫を重ねました。「ブタ鼻のリレー」「好奇心旺盛な一年生」「劇中劇」など、オリジナル要素と演劇ならではの表現方法を取り入れています。劇を楽しみつつも食べる側と食べられる側の視点を持って、出演者と一緒に考えてもらいたいです。



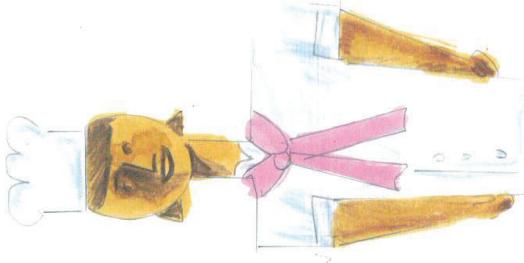
『注文の多い料理店』の場面はオマケと言っておきながらも、たっぷり時間をかけて全ストーリーを表現しています。



この演劇は静かに観なければいけない、というものではありません。面白ければ笑い、怖ければ悲鳴をあげるなど、子どもたちには伸び伸びと鑑賞してもらえばと思います。



# 劇場へ いこう！



## フランスノドソノ 農学校の豚 ～注文の多いオマケ付き～

からでたことば  
【表紙】『農学校』『フランスノドソノ』  
頃の豚のえさは、食品工場から出る豚  
糞処分される食品や、家庭から出る食  
べ残しながら中心でした。スリッパも  
いて、スリッパには、竹の皮、イ草、  
藁、といった植物が使われ、歯磨楊枝  
＝歯ブラシは、牛の骨の柄に豚毛を植  
えたものだそうです。

【ものをはかるための単位】ちょっと聞  
きれないことがありますね。これは日本で、昔から使ってきた尺  
貫法という単位です。お芝居の中で出  
てくるのはこんな単位。

1000匁は1貫=3.75キロ  
【体積】1合=0.18リットル  
10合は1升=18.039リットル  
【長さ】1寸=3.030センチ  
今も、お米やお酒をはかるとき、建物  
を建てる時などに使われています。  
【触媒】そのものの自身は変化しないで他  
の物質の化学変化のなかたちをする  
ものの。豚がえさを食べる＝ながだちを  
することによって、水やわらがら肉にか  
わることを示しています。

【ヨーカシャイア】豚の品種。イギリス  
のヨーカシャー州が原産の白豚。バー  
クシャーはバーカシャー州原産の黒  
豚のこと。

【豚油】家畜の肉量や肉質を良くするた  
めに、運動量を制限して、良質のえさ  
をあたえます。

【阿々】麻〔ニ〕西麻〔ニ〕油。豚のえさにま  
せて、肉をやわらかくする食用油。  
【蹄鉗】馬のひづめに打ちつけた鉄具。  
【ショルダー】肩肉

【ばさま】不間。間がぬけていることやよ  
うす。

【チップベラリー】第一次大戦中にイギリ  
スの軍隊で歌っていた、恋人を失  
てきた自分の故郷をなつかしむ歌。  
戦後、日本でも流行しました。  
【僕若無人】人のことを気にかけず、  
自分勝手に振舞うこと。中国の故事  
で第五十回岸田國士戯曲賞など受賞多。

佃典彦

愛知県出身。劇作家・俳優・演出家。劇団B級遊  
戯隊主宰。日々実験的な非日常が巻き起こる不  
条理劇を得意とし、新劇から見直しで幅広い  
ジャンルを越えて作品を提供している。『KANKAN  
男』で第四回読売演劇大賞優秀作品賞。『ぬけがら』  
で第50回岸田國士戯曲賞など受賞多。



高円寺

ZAKKENJI PUBLIC THEATRE

どうして人間は食べられないのに  
豚は食べられます？

ぶた

参考文献

「無頼冤家」板谷栄城、ちくま文庫

宮沢賢治全集（9）書簡 ちくま文庫

別冊宝島「宮沢賢治 うきうき」金鳥社

「宮沢賢治ハンドブック」新書館

文藝別冊「宮沢賢治 うきうき」河出書房新社

「うちのは肉店」奥山清行著、文化出版社

「いのちってなんぞう」内田英輔著、日本新聞社

「いのちの食べ方」森浪文吉著、岩波新書

一般社団法人日本養豚協会 箱豚の歴史 http://www.jppa.biz/leikishi.html

西沢栄治

東京都出身。演出家。JAM SESSION主宰。ギリシャ  
戯や歌舞伎などの古典を題材にコンクール  
をつくる。日本演出者協会・若手演者協会として「天  
才賞」「最優秀賞受賞」。主な演出作品として「天  
保十二年のシェイクスピア」「女の平和」「四谷怪  
談」「阿部定の大『采屋』ほか。

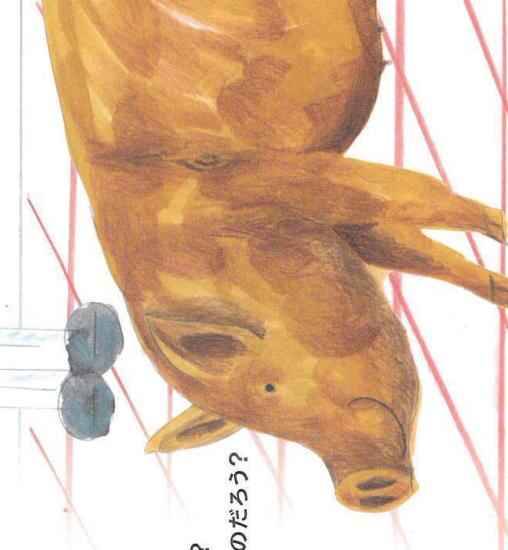
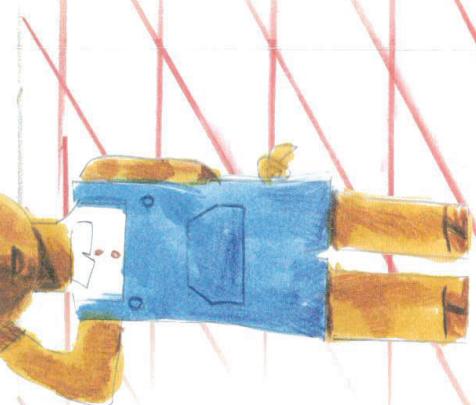


★お芝居を見られてかかわり

【スリッパ】『農学校』『フランスノドソノ』農  
学校の豚のえさは、食品工場から出る豚  
糞処分される食品や、家庭から出る食  
べ残しながら中心でした。スリッパも  
いて、スリッパには、竹の皮、イ草、  
藁、といった植物が使われ、歯磨楊枝  
＝歯ブラシは、牛の骨の柄に豚毛を植  
えたものだそうです。

【ものをはかるための単位】ちょっと聞  
きれないことがありますね。これは日本で、昔から使ってきた尺  
貫法という単位です。お芝居の中で出  
てくるのはこんな単位。

【重さ】1匁=3.75グラム



## ★お芝居を見る前に どんなお話かな? —あらすじ

雪深いフランダン王国にある農業学校。今日は、校長先生も参加して、みんなわくわく。でも、「待って!」それを見ていた1年生が声を上げます。たって、その料理に使われている「豚」は……。

### 「食べる」に 「だわったのでしよう

1年生が観察しているのは、学校で育てている豚。なんでも食べる食いしんぼうの豚。生徒たちから、「糞や水から、肉や脂肪をつくる」不思議な力を持っている生きもの、なんていわれて、豚はちょっと自慢気だ。けれどある日、えさの中に自分と同じ短い毛が使われている歯磨き粉をみつけた。なんだかが変な……。それから何べんもねたり起きたりするうちに、ずんずん太った豚は、今度は、畜産学の先生のふるまいに、首をかしげる。身体をあちこち測れたり、特別のえさを食べさせてもらったり、いままでとはちがう待遇だぞ、どうしてだろう?……。

そしてある日、フランダン王国の王さまから、「食肉にする時には、その家畜の許可が必要だ」という法が発令されて……。

このお芝居は、詩人・童話作家として知られる宮沢賢治さんが書いた、「フランダン農学校の豚」と注文の多い料理店の二つのお話をからでています。どちらも大正時代後期に書かれた「食べる」ことについて、最後に自分が食べられてしまうという危機に対面します。

賢治さんは、友人にあてた手紙の中でこんなことも書いています。

### 「食べる」に 「だわったのでしよう

賢治さんはなぜ大切な問いかけていました。「この人は、わたしのうしろにいて見いたら、何とおしゃうか?」この人のは、わたくしのいのちをすてたそのからだを、まずそこにいる「おにぎりながら食っている」「やけくそで食つている」……さかなや鳥の心づくしの犠牲があつてこそその料理を前に、不公平や、これをいのちとも思わずにはいのうのうのといふ人たちを、食われるものが見ていたら、何といふでしょうか。

### いのちを生かす、 大切にする

いのちには形がありません。いいのちがあるとわかっていても、いのちがいることをお話しにしたと云われています。『雨ニモマケズ』『ビジテリアン大祭』『よだかの星』……。今回のうち「フランドン農学校の豚』は、賢治さんが農学校の学びます。『雨ニモマケズ』『ビジテリアン大祭』『よだかの星』……。最初にいのちが生まれたのは、38億年前。たつた一つの細胞として誕生し、そのいのちをつなげたために、さまざまな種や形に進化していきました。生きものは生きものからしか生まれません。環境や天候の変化や、たくさんの危機を乗りこえて、生まれては死に、生まれては死に、まるでハントリレーをするかのように、まるでハントリレーをするかのように、いのちをつなげてきたのです。

『注文の多い料理店』は、逆に、いのちをつなげてきたのです。

そうして、およそ700万年前に人類が誕生しました。

たのかな、とか、どこで、どんなふうに、育ったのかな、とか。  
わたしたちは、生きるために、いろいろなものを食べています。私は生きもののしか食べられません。つまり、たくさんいのちをいただいている。そういうのちに、生きされている。そのことを忘れないように、ごはんを食べる。大切に食べる。おいしい食べる。ござぎ食べる。絶対、あしたの元氣の素にする!

### 童話からお芝居をする時に、 どんな工夫をしましたか? —脚本について

お芝居では、俳優たちが話すことを加えて、みんなが、お話を世界を旅する助けをしています。俳優たちがかかるがわかる豚になるのもその工夫のひとつです。どうぞ、みんなも豚の鼻を受け取ったつもりで、賢治さんがみんなに伝えたかったことを一緒に考えてみてください。

した賢治さんのことばのほかに、歌や音、ダンスや動き、衣装や美術を加えて、みんなが、お話を世界を旅する助けをしています。俳優たちがかかるがわかる豚になるのもその工夫のひとつです。どうぞ、みんなも豚の鼻を受け取ったつもりで、賢治さんは、その独特の言葉がいつもユアンスにあると思って、原作の言葉を大事にしました。そう語るの言葉を大目にしました。そのお芝居を書いてくれた仙台彦さん。

宮沢賢治の作品のとても大きな特徴は、その独特の言葉がいつもユアンスにあると思って、原作の言葉を大事にしました。そう語るの言葉を大目にしました。そのお芝居を書いてくれた仙台彦さん。



今、私たちがここにいるために、どれだけ多くのいのちがつながってきたのでしょうか。みんなさんは、お父さんとお母さん二人からいのちをさすりました。お父さんとお母さんは、そのままお父さんとお母さんかは、そのままお父さんとお母さんかは、そのまま生まれました。そのまだお父さんのお父さんとお母さんと……そうやって、どんどんどんどんかのぼつてみると、だいたい500年くらいの間に、みんなは生まれなかつたのです。賢治さんのお話を聞き美のよう、日々のようでいて夢のよう、日々のようでいて自分が考えたごとも常のようでいて自分が考えたごともない世界に連れていくつてくれる、とのお父さんとお母さんと……そうやって、どんどんどんどんかのぼつても不思議な力があります。

2000人をこえる人のいのちがつながっていることがわかります。つまりその2000人をこえる人の一人がいるお父さんとお母さんと……そうやって、どんどんどんどんかのぼつても不思議な力があります。

自分の身体中の毛が、風に吹かれた草のよう、灰色にしてややめたり、透明になるところの気分だけではありません。朝食、給食、おべんとう……、食車にならんだ、ごはんやおかず。あたりまえに、食べていませんか?だから、口に入れるそのまえに、ちょっとだけ想像してみてください。肉や魚、野菜や果物……、料理される元のすがた。世界中の食べ物が手に入れる理由。それから、どんな人が育てる





## 会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8	高さ	1.8
搬入車両の横づけの要否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離			5m以内	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

